

みんなの謎探アドベンチャー?!「動物たちの楽園」
ズーラシアに眠るパームの実を探せ！ イベント実施報告

松山薫

動物園での環境教育プログラムはこれまでに色々と実践されてきたが、1度に参加できる人数が限られてしまう事や、あまり興味のない方に参加してもらう方法等が課題となってきた。今回は WWF ジャパンのご提案により、RSPO 認証パーム油の普及啓発という目的の下、謎解きイベントを実施することになった。昨今ブームとなっている「謎解き」イベントを用いることにより、普段動物園で「学ぶ」という意識のあまりない来園者に、環境問題について伝える事ができるのではないかと考えた。そこで、2018年5月の週末2日間で、パームの実・実行委員会と共催で謎解きイベントを開催したので、報告する。実行委員会は学生団体 Palmstream、グリーン購入ネットワーク・ShoeZ の3団体によって構成され、さらに企画段階より、多くの団体・学生がボランティアメンバーとして参加していた。

イベントのターゲットは、普段スーパー等で買い物をしている主婦層を中心に、謎解きに興味を持ちそうな小学生連れの親子とし、また大人同士でも楽しめる内容を目指した。当日の呼び込みでは、何のためのイベントなのかを事前に知らせず、気軽な感じで参加してもらうことを心がけた。参加者は受付で謎解きのシートを受け取り、ストーリーや注意事項のレクチャーを受ける。その後、園内に隠されたヒントをもとに謎を解いていくが、これらの謎は動物や解説パネルなどをよく見れば分かる内容となっている。謎を全て解き終え、最後にレクチャーを受けると、参加者は自分で集めた謎のキーワードが、RSPO 認証パーム油に関する事だと気づき、ただ楽しいだけではなく、野生動物や自然環境の現状について考えるきっかけを作る事ができた。

2日間で約2,000人もの来園者が参加し、アンケート結果からも普段はあまり環境問題に興味を持っていないような子どもから大人まで、パーム油の実態や、RSPO マークについて強く印象付けできた事が分かった。また、動物やパネルをよく見たからこそその感想も多くあり、謎解きの作り方により、動物をよく観察する方法を導く事ができることが分かった。今回は多くの来園者に参加してもらうことはできたものの、当日は50名近くの運営スタッフが必要であった為、今後は少人数のスタッフで多数の参加者に対応できるイベント作りを心がけていきたい。